

## 第18回 定例評議員会議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成20年5月31日(土) 10:00～11:49
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館 4階第1、第2研修室 (横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 評議員出席状況： 評議員現在数： 50名  
出席評議員数： 29名  
書面票決数： 17名  
欠席評議員数： 4名 (出欠表添付)
4. 出席理事： (会長) 河野 洋平(代理 露木 教三)  
(副会長) 野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉  
(専務理事) 片 忠夫  
(常務理事) 三塚 康雄、上田 英之、菊地 富士夫、木村 徳善  
(理事) 徳本 進、川田 光代、吉野 大成、金子 理人、国島 みどり、  
百海 廷、清水 忠、岡本 洋一、森本 珠水、小池 光、  
平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私、平賀 淳夫  
欠席理事： (理事) 藤田 浩介、荻野 恭宏
5. 出席監事： 木村 信吉、内海 雄三
6. 出席顧問・参与： (顧問) 片岡 春夫
7. 議長選出： 松永 広司評議員(相模原市スキー協会)を指名
8. 議事録署名人選出： 佐藤茂之評議員(横浜スキー協会)、吉岡 健評議員(横浜スキー協会)を選出
9. 書記： 守谷 紀幸広報委員、小田原 恭一広報委員を指名
10. 配布資料  
第18回評議員会資料(事前配布)  
次期役員体制(当日配布)
11. 議 事

### 1) 報告事項

#### (1) 一般経過報告

片 忠夫専務理事より、昨年7月の評議員会以降は殆どが事業内容でありますので、夏季評議員会で報告させていただきます。雪不足で中止した事業は無く、一部スキー場状況により会場変更したほかは、収支含めて鋭意努力して決算報告をまとめていますが、概ね良好に推移していることを報告させていただきますと思います。ジュニアオリンピックの際、菅野君は練習中に林に突っ込み転倒し、下半身不随になったが元気に回復し、募金活動など支援いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。財団法人の新しい会計に移行していることと、新公益法人のルールが変わりまして、これに対応していくための準備に入っています。3月に押川顧問が他界された。ハンディキャップ事業に対してご理解頂き、多額の寄付をいただきまして、ハンディキャップ委員会の充実した運営がされていることを報告させていただきます。

### 2) 審議事項

#### (1) 第1号議案

平成20年度 執行方針(案)について

片 忠夫専務理事から、平成20年度 執行方針(案)について、評議員会資料の2ページの提案がされた。

平成20年度 総務本部執行方針(案)及び総務本部事業計画(案)について

上田 英之総務本部長から、平成20年度 総務本部執行方針(案)及び総務本部事業計画(案)について、評議員会資料3ページの提案がされた。尚、本文中18行目の「順治」は「順次」の、次行の「前出し」は「前倒し」の誤り。

平成20年度 教育本部執行方針(案)及び教育本部事業計画(案)について  
木村 徳善教育本部長から、平成20年度 教育本部執行方針(案)及び教育本部事業計画(案)について、評議員会資料4ページから7ページまでの提案がされた。尚、本文中4ページ下から2行目の「蜜に」は「密に」の、行事一覧中6ページの16湯沢行事の日程の「21/02/31(土)~03(日)」は「21/01/31(土)~02/01(日)」の誤り。また、行事一覧中7ページの39南関東ブロックの日程が、「21/03/28(土)~29(日)」と追加された。

平成20年度 競技本部執行方針(案)及び競技本部事業計画(案)について  
菊地 富士夫競技本部長から、平成20年度 競技本部執行方針(案)及び競技本部事業計画(案)について、評議員会資料8ページから9ページまでの提案がされた。

## (2) 第2号議案

平成20年度 予算(案)について  
上田総務本部長及び金子 理人総務理事から、平成20年度 予算(案)について、評議員会資料10ページから15ページまでの提案がされた。

## (3) 質疑応答

渡辺 一敏評議員(平塚)から、競技本部執行方針(案)で、事業運営に関して競技本部はSAJの資格保有率が低く、指導者の育成を急ぐとしているが、教育系の指導員の皆さんは競技の資格制度を知らない方が多いと感じている。このところジュニアの競技会等が増えてきているが、そういう場で活躍できる資格のあるセッター等の養成を行う講習会を行ってほしいとの意見があり、菊地競技本部長から、競技の資格について知らない方が多いので、県連のホームページに競技系の資格一覧等を掲載する。また、競技指導者の育成は、競技本部の大きな取り組み事項であり、そのためにも若い専門委員の推薦をお願いしたいとの答弁がされた。

神谷明宏評議員(横浜)から、ハンディキャップとのコラボレーション行事の中で、理事から認識不足とも取れる発言があったと聞いている。少なくとも、理事の間ではコラボ行事の目的、内容について一枚岩となって対応してほしいと思うとの要望があり、

片専務理事から、ハンディキャップ行事は、ボランティアと指導員、理事が三位一体となって動くよう指導していきたいとの回答があり、上田本部長より、会計について使途不明は勘違いであり、予算案に基き支出しているので誤解なきようお願いするとの回答がされた。

松浦 哲也評議員(小田原)から、会員登録のメリットを生かせるよう検討するとあるが、具体的内容は、会員登録費をJOCカードで引き落とし処理はできないのか、そのメリットとしての収入はどこに計上されるか、ジュニア事業は各協会から従来から開催している事業であり、県連で後発的に行う事業ではないのではないか、ジュニア育成基金を創設するが、基金額と基金が集まる目途はあるかとの質問があり、

上田総務本部長から、現状では行事への参加料割引が最も大きい、会員登録費の自動徴収については、SAJとの調整になると思う、JOCカードからの収入は雑収入で処理している。ジュニア雪とのふれあい事業では、パンフレットの中で各加盟団体の行事をPRしている。ご指摘の点については今後検討したい、ジュニアの基金は60万円の予算を計上している。収入としては協賛会費の増を見込んでいるとの回答があり、片専務理事から、ジュニアの育成目的なら協賛金を出すという個人、会社がある。企業側のメリットがあるのでジュニア強化費を増やしたい。HC予算とジュニア育成基金に振り分けていくことで考えているとの回答がされた。

神谷明宏評議員(横浜)から、亡くなった押川顧問の遺族から、寄付の話があると聞いているが、どんな状況か、県連の情報伝達が遅いことがあり、今回の専門委員の推薦時期の前倒しなどは、当協会ですぐに訂正の連絡ができない状況にある。また、県連の姿勢としてSAJに対してもっと毅然とした態度を取れないものかとの意見があり、

片専務理事から、寄付についての具体的な話はまだまだあり、こちらから積極的に動ける問題ではない、SAJとの関係については難しい面もあり今後検討したいとの回答があり、上田総務本部長から、連絡の遅れについては謝罪する。賛助会費は目標であり支出と連動したものではないことをご理解いただきたいとの回答がされた。

井上敏郎評議員（厚木市）から、ブロック交付金25万円の支出あるが、各ブロックでどう使われているか執行部で把握しているかとの質問があり、

片専務理事から、ブロック運用規定に基き報告書の提出は求めているが、県教育庁からの指導もあり、今後対応を検討したいとの答弁がされた。

以上の提案に基づき、議長から第1号議案及び第2号議案について、一括して承認を得たい旨諮ったところ満場一致で承認された。

（4）第3号議案

次期役員選出について

役員選出規程第3条の規定に基き、設置された役員候補選出委員会委員長井上敏郎氏からブロック選出理事及び監事候補者の報告があり、これに基き、片忠夫専務理事から評議員会資料16ページのとおり次期役員選任について提案があった。名簿は次のとおり。

理事：河野 洋平、野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦、片 忠夫、三塚 康雄、上田 英之、木村 徳善、菊地 富士夫、荻野 恭宏、吉野 大成、清水 忠、平賀 淳夫、徳本 進、百海 廷、吉岡 去私、岡田 良平、国島 みどり、金子 理人  
（以上19名ブロック選出理事）

斎藤 幸雄、岡本 洋一、大澤 康之、小池 光、安藤 努（以上5名会長推薦理事）

監事：木村 信吉、内海 雄三

以上の次期役員候補者名簿に基き、議長から第3号議案について承認を得たい旨諮ったところ、満場一致で承認された。

ここで一時休憩を取り、新役員を招集し、次期役員体制について決定した。

（5）第4号議案

次期役員体制について

片専務理事から、理事会で選出された会長推薦理事5名を含め、理事の互選により次期役員体制について、当日配付資料のとおり提案があった。（\*印：会長推薦理事）

会 長：河野 洋平

副 会 長：野地 澄雄、山田 隆、佐藤 嘉彦

専 務 理 事：片 忠夫

常 務 理 事：三塚 康雄

総務本部長：上田 英之

理 事：徳本 進（事務局長）、荻野 恭宏、吉野 大成、国島 みどり、金子 理人、\*安藤 努

教育本部長：木村 徳善

理 事：清水 忠、百海 廷、岡田 良平、\*岡本 洋一、\*小池 光

競技本部長：菊地 富士夫

理 事：平賀 淳夫、吉岡 去私、\*斎藤 幸雄、\*大澤 康之

監 事：木村 信吉、内海 雄三

このあと議長より、第4号議案について承認を得たい旨諮ったところ、満場一致で承認された。

（6）その他

特になし。

以上を以って、本日の議事を終了し、議長解任後、副会長より閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成20年6月6日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印